

みどりリンク

わたしとあなたとこそだてとつながる

子どもたちと手をつなぐかかわりを



ボランティアってどう思う？

言葉にすると大げさで
敷居が高い気がする…けど

例えば、子連れでお出かけ中、席を譲ってもらったり
会計中にちょっと子どもをみてもらったり

そんな風に誰かに優しくされたら嬉しいし、
自分も誰かに優しくしたい
それくらい気持ちなり、誰でも持ってる

「ボランティア」ってまくと「大変そう」「偉いわ」って
思っちゃうけど、どうなのかな？
ボランティアしている人は、「好きでやってるよ」
「楽しくやってるよ」っていうし

見える人とやってる人で
ギャップがあるのかも
なんというても

子どもたちはかわいい！



ボランティアのススメ

**「この地域でできる事がある」
と思える事は余裕につながる**

家事、仕事…どれも大事な日常だけれど、自分事だけで日々を埋めると大変さだけが募ることも…。身近けれど、生活にそこまで直結しないもう一つの社会的活躍の場があることは、気持ちの余裕につながると地域のボランティアなどが注目されています。地域に知り合いができる事で、災害発生時やいざという時に頭に浮かぶ顔が増え、日常の安心感にもつながります。

**自分の子育ては減点法で見てたけど
よそのお子さんは加点法で見られる**

自分の子の子育てでは、親はどうしても子どもにも自分にも厳しくなってしまうもの。日々、反省点を挙げては落ち込んだり自信をなくすことも…。でも、よそのお子さんに対しては不思議と気負いがありません。「あ、私も小さい子に、こんな風に対応できるんだ」という気づきが、新たな自信になります。

**地域に頼れる人がいない!と思う人
ほど「頼られる側」を経験してみよう!**

「他人様に頼っては申し訳ないな」とか、「ご迷惑だから」と、思いこみがちですが、そんな方は「頼られる経験」をしてみると、視点が変わって「ご迷惑なんてことはない」「お互い様だな」とマインドチェンジできるかも。

**「横浜子育てサポートシステム」で、少しの
時間できる範囲で身近な子どものお手伝い**

横浜子育てサポートシステムは地域の人同士で子どもを預けたり、預かったりする横浜市の子育て支援制度です



実は、近所に住んでいるかもしれない子育てを手伝ってほしい人と手伝える人、そんな二人が出会うためには…

詳細は次のページ

手伝ってほしい人と手伝える人が 横浜子育てサポートシステムで出会うまで



活躍中の提供会員さんの声

今から3年ほど前

いっばのひろばで0才のお子さんを初めてお預かりしました。ドキドキでしたが、かわいく癒される時間でした。その後も時々預かっていたその子も幼稚園入園。もう預かることはないかと思うとちょっと寂しいですが、外で元気に走っている姿を見かけると、ご縁をいただけて本当に良かったと思います。これから困ったときに支えられる存在でいられたらと思います。
<40代女性>

フレイル予防です！

朝夕の送迎をしています。規則正しく起きて、子どもたちと話しながら歩いて...とてもよい老化防止になっています。同年代の人にすすめたいです。
<70代男性>

利用会員さんの声

頼れる先輩ママさんです

提供会員さんに、地域の事や料理の事も教えてもらいました。自分にとって利用してよかったです。
<2才、0才の保護者>

かれこれ...15年！

初めてお預かりした子が中学3年生になりました。ママも気さくな方で今も時々一緒にお散歩をしています。サポートのおかげで、若いお友達ができました。楽しい時間をありがとうございます。
<50代女性>

小学生男子との話題は...

男の子の塾の送迎をしました。話題に悩みましたが、ゲームや学校生活の様子を聞きました。お母様には口数が減っているようで、ご相談も受けました。最後の日は寂しかったです。研修では、今の子育ての話が聞けて、孫との関わりも楽しめています。
<50代女性>

預けてみたら...

利用するタイミングを逃してしまい、入会后利用するまで時間があきました。一度預けてみたら「もっと早く利用すればよかった」と思いました。
<6才、3才の保護者>

**お手伝い
してくれる方を
募集しています**

横浜子育てサポートシステムは、20歳以上の健康な方ならどなたでも子どもの送迎や預かりの活動ができる有償のボランティアです。

お問い合わせ・入会説明会のご予約
緑区支部 045-982-3521
または、いっばホームページをご覧ください。



もっと知りたい緑区のこと

いろいろあるよ！子どもに関わるボランティア

子どもと一緒にあそんだり、勉強したり、食事を作ったり。活動している皆さんからお話を聞きました。



こどものいばしょ とも村 遊んだり宿題をしたりできるよ

地域の大人たちが関わり、子ども達が安心して過ごせる場所を。と「十日市場駅周辺『こどもの居場所づくり』検討委員会」が話し合いを重ね2018年に開所した「こどものいばしょ」です。手芸・ボードゲーム・囲碁・折り紙などが用意されていますが、自宅から宿題を持ってきたり、昼寝をしてもOK。子ども達は自分のやりたいことをして過ごします。ボランティアさんは「子ども達の心が豊かになるように。そして大人と一緒に楽しむ」「ここは子ども一人ひとりが主役になれる場なんです」とお話ししてくれました。部屋の至る所で笑い声が聞こえる楽しいとも村ではボランティアさんを随時募集しています。

- ◇活動日：毎月2回水曜日 15:00～17:00
- ◇場所：十日市場ヒルタウン 14 街区集会所(第2水曜日)
十日市場地域ケアプラザ(第4水曜日)
- ◇問い合わせ先：十日市場地域ケアプラザ TEL 045-985-6321

こどもの居場所・ 学習支援 てらこや 勉強で分からない事があっても大丈夫！

小学校の地域連携の取組みとして始まり、形を変えて約15年続いている算数の学習支援の場です。算数以外の勉強やおしゃべりもOK。行けば知っている顔に会える、子どもたちの“サードプレイス”となればと毎週欠かさず開いているそうです。年齢も地区も様々な子どもが集まり、学生ボランティアも加わって、ナナメの関係ができる場所になっています。子ども達と接しながらその時々にあったサポートをしてきているそうです。ボランティアさんに続けている理由を聞くと「なにより子どもたちといるのが楽しいんだもん」と。これからも“こうじゃなきゃいけない”にとらわれない場作りを続けていきたいと話してくれました。

- ◇活動日：毎週木曜日 17:30～20:30
- ◇場所：ハーモニーみどり(中山)

てらこや
ホームページ



学習支援ぼらりす 外国につながる子どもの勉強を助ける

外国人の子どものための学習支援教室で、約2年前に行われた養成講座の受講者で立ち上げたそうです。日常会話ができても、勉強となると読む力・書く力が必要になり難しくなるので、そこをサポートしているそうです。今はインド、中国など5か国の子どもを、ボランティア8名がほぼマンツーマンで対応しているとか。ゆっくりと向き合ってくれるので、勉強だけでなく、おしゃべりしたり、遊んだり、居場所にもなっているようでした。漢字の勉強をみているボランティアさんは、「退職して家にいるよりも、子どもと話していた方が楽しい。活力をもらっていますよ」と話していました。

- ぼらりす facebook ◇活動日：毎週土曜日 13:00～15:50
- ◇場所：みどり国際交流ラウンジ(中山)



みどり子ども食堂 ご飯を食べて元気に！

コロナ禍に始まった、食事の提供とフードギフト(食品配布)の場です。子どもだけでなく、いろんな世代の方が来て、ご飯を食べたり遊んだりしながら交流する場になっています。調理を担当していたボランティアさんは「近くに住んでいるので、できる時にできる事だけお手伝いしている」とか。WEBサイト「activo(アクティボ)」でもボランティア募集をされていて、学生ボランティアさんが積極的にお手伝いに来ているそうです。学生さんと接し「若い人を見る目が変わったわ」ともお話ししてくれました。配布食料の調達は『セカンド・ハーベストジャパン』など活用しているそうですが、寄付も随時募集しています。

- ◇活動日：月2回(月・木・土のいずれか)
- ◇場所：ハーモニーみどり(中山)

みどり子ども食堂
寄付サイト



どの活動もボランティアを募集しています。興味があるものがあれば、いっば踏み出してみませんか？このほか、緑区内のボランティア情報は緑区社会福祉協議会ボランティアセンターでも案内しています。
TEL 045-935-7807 月～土曜日 9:00～17:00

👍 我が家の子育てアイデア💡

子どもがちょっと座りたい時にちょうどいい高さの椅子があればいいなあと思ったことはありませんか？
身近にある材料で椅子を作ったママに聞きました。

ティッシュ箱の椅子

この丸い椅子、実はティッシュの箱でできています。遊びにも気軽に使える、子ども専用の椅子が欲しい...と手作りしてみました。材料はティッシュ箱8個と段ボール。作り始めるとあっという間に出来上がります。(作り方はネットにも載っています)我が家ではままごと遊びや靴を履くときなどに使っています。時には転がして遊んだりも。お子さんの好きな絵などを貼ってあげると、さらに特別感が増えて喜んでくれると思いますよ^^子どもはもちろん、母の私がちょっと座っても大丈夫なほどの強度です。(踏み台にするのは危ないかも...)牛乳パックで作る椅子とは違い、角が無いのも安心です。



いっぽってこんなところ



「地域子育て支援拠点 いっぽ」は、主に0歳から未就学児、妊婦とご家族、地域で子育てを応援している方のための施設です。

シニアボランティアさんの紹介

いっぽのひろばには、12年という長い期間通ってくださっているボランティアのTさんがいます。Tさんは週2回ひろばに来てくれ、赤ちゃんを抱っこしたり、子ども達と一緒におもちゃで遊んだり、ママ達の話の聞いたりしてくれています。背筋がピンとしていて、いつも穏やかな笑顔で親子やスタッフに接してくれるTさんは「いっぽに来るだけで楽しい。子どもがよちよち歩いている姿を見るのが好きなの。子どもたちから笑顔と元気をもらっているのよ。」と言ってくれます。Tさんのファンも多く、「娘はTさんが大好き。Tさんに会いたくて、ひろばにいる曜日を狙っていっぽに遊びに行っていました。」というママも少なくありません。Tさんが今まで関わってきた親子は数えきれないほどでしょう。



たくさんの子どもの成長を見守ってくれるTさん、いつもありがとうございます！！

Thank you

🍆🍅🍆🍅🍆🍅 ファームふたばさんの野菜通信



畑を借りて年間60種類の野菜をそだて販売もしているファームふたばさんによる季節の野菜情報、簡単レシピを紹介するコーナーです。

月2回いっぽに来ています。

● わさび菜 ●

「わさび菜」というと皆さんはどんなイメージを持ちますか。「わさびのように辛いんじゃないか」「お刺身につけるわさびの葉や茎のことかしら」でしょうか。わさび菜は小松菜や大根、キャベツ、水菜等と同じアブラナ科の野菜で、からし菜から生まれた比較的新しい野菜らしく、私自身も知ったのは5年位前です。わさび菜はちぢれたやわらかい葉を持つ少しピリッとした食感ですがその特性を生かしたおすすめの食べ方を紹介します。

1. 焼肉 焼いたお肉の上にちぎったわさび菜を飾り、一緒に食べるとほのかな香りがします。
2. サラダ 色どりが美しくなり1ランク上のサラダに見え、食欲をそそります。
3. サンドイッチ ハムやベーコン、チーズなどと一緒に挟むと、からしいらずでボリュームも増します。
4. 手巻き寿司 海苔の上にわさび菜をのせてから、すし飯と魚介類などの具を巻くとわさびをつけなくてもOK。

個人的にはもう少しわさびらしいピリ辛感があってもいいかなと思う位ですが、いろいろな料理がわさび菜を入れることでパッと引き立つので、是非お試しください。



子育て世代と関わりを持ちたい方 いっぽまで、気軽にお問合せください！

<利用案内>
開館：火曜日～土曜日 10:00～16:00
休館日：日曜日・月曜日・祝日・年末年始
※ 月曜日が祝日の場合、翌火曜日にも休館
利用料・登録料：無料

発行：緑区地域子育て支援拠点 いっぽ
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町 817-8
Tel:045-989-5850 Fax:045-989-5851
E-mail:kosodate@midori-ippo.com

Instagram



ホームページを
チェック！

